



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2022年4月5日

企業・団体名 にかわ信用金庫

代表者名 岸 和雄

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和3年8月4日（宣言日）～令和4年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 お客様の事業や家計における課題やニーズを深く理解し、金融を通じた支援を行う。</p> <p>【実施状況】 ・事業を営む858先のお客様から課題をお聞きし、事業性評価シートを作成、課題解決に取り組みました。 ・個人のお客様905人からお困りごとをお聞きし、ライフプランシートを作成、それに基づく課題解決に取り組みました。 ・非対面や効率化に鑑みインターネットバンキングの推進を行い、個人494先、法人77先と契約しました。</p>
2	<p>【目標】 外部パートナーとの連携等を通じて、お客様の課題を解決する。</p> <p>【実施状況】 ・魚津市の電子地域通貨「ミラペイ」普及に賛同し、市内2店舗をチャージ店舗としました。また、魚津市の片貝川流域水循環遺産活用事業に賛同し、2店舗で天然記念物「洞杉」の写真展、ビデオ上映を実施しました。 ・ITによる販路拡大を図るため、中小企業119の専門家派遣事業を活用し、6社に対し合計22回にわたる支援を行いました。 ・専門家連携による各種補助金申請において、21先に対し合計100回の支援を行い、うち17先が採択されました。また事業承継支援を2先に対し行いました。 ・人材育成のため、中部産業連盟の「経験値活用型サポート人材マッチング」を活用し、3社に対して課題をヒアリング、17名のコンサルタントとマッチングを行いました。 ・信金中央金庫との連携で、5社に対して海外および首都圏の大手パイヤーとの販路拡大マッチングを実施しました。</p>
3	<p>【目標】 「地域の人々が健やかに暮らせるための活動」と「環境に配慮した取組み」を促進する。</p> <p>【実施状況】 ・使用済み切手の寄贈や魚津市内の河川清掃ボランティアを行いました。 ・粗品袋を石油製品からライメックス・バイオマス素材に変更しました。 ・地元県立高校の農業科が栽培する花を粗品に採用しました。 ・10月の年金受給日に県警と連携して、特殊詐欺に対する注意喚起の声掛けを実施しました。また、年末にも各店に防犯巡回を行うとともに、特殊詐欺注意のチラシを配付しました。</p>